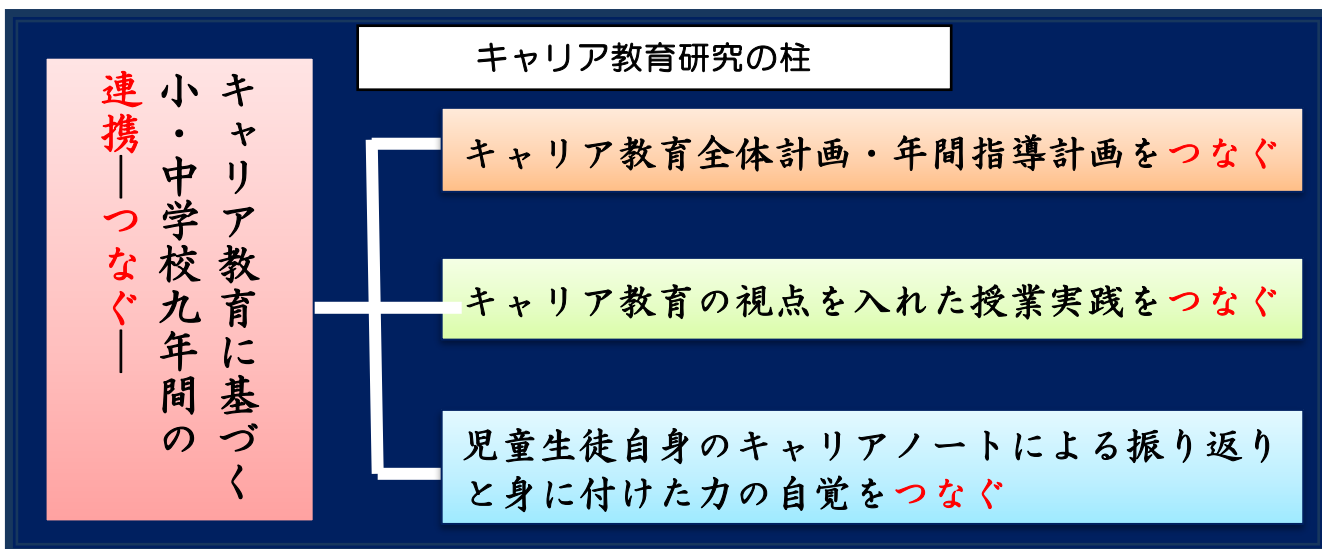


<h1 style="font-size: 2em;">所報</h1> <h1 style="font-size: 4em;">すくも</h1>	<p>発行 宿毛市教育研究所 宿毛市長田町 3-80-11(宿毛市教育委員会内) TEL 63-1127 FAX 62-0076 E-mail sukumo-l@city.sukumo.lg.jp (LGWAN 系) sukumo-l@kochinet.ed.jp URL http://www.kochinet.ed.jp/sukumo-l/</p>
--	---

「学びを振り返りながら、自身が身に付いた力を自覚し、 自尊感情を高められる」子どもを目指して

宿毛市でキャリア教育推進地域事業の指定を受けて、取り組まれてきた「キャリア教育」も7年目となりました。5月20日に行われました「第1回キャリア教育担当者会議」では、まず初めに、会長の黒田令子宿毛小学校長から、子ども達が将来しっかりと生きていくための『キャリアの視点を入れた授業づくり』や宿毛市ではすでに活用されている『キャリアパスポート(キャリアノート)』についてのお話がありました。

今年度の取組計画についての説明後には、今年の2月に参加された福岡教育大学附属福岡小学校での研究発表会の様子を、動画や写真を盛り込み分かりやすく、橋上小学校の藤原青至校長先生より報告していただきました。その後、中学校区に分かれて、児童生徒の実態を踏まえた小中でのつながりのある取組について協議が行われました。



研究到達目標

- ・9年間をつなぐキャリア教育全体計画・年間指導計画が作成され、小中連携して育てたい子どもの姿のゴールイメージを持った取組ができる。

評価指標：中学校区ごとの9年間のつながりのあるキャリア教育全体計画・年間指導計画が作成されている 100%

教職員対象としたキャリア教育に関わるアンケート(本市作成)関連項目

肯定的回答 85%以上

- ・各推進校でキャリア教育の視点を入れた授業研究が実施され、学習に対する内発的動機が高まることにより、児童生徒の学習意欲が高まり、学力の向上につながる。

評価指標：「キャリア形成に関するアンケート」教科の内発的動機に関わる項目

肯定的回答 小学校90%以上・中学校85%以上

- ・宿毛市キャリアノートが各推進校で活用され、発達段階に沿って、身に付けたい力が児童生徒に自覚されている。

評価指標：キャリアノートの活用 100%

宿毛市キャリアノートの「1年間のまとめ」への児童生徒の記入状況「身に付いた力」・「もっと伸ばしたい力」が記入できている 100%



またこの会の中で、宿毛市の学校に赴任されて間もない先生など、これまで宿毛市が進めてきたキャリア教育について学びたい方には、平成28年に各校に配布されている緑色のファイル「宿毛のキャリア教育」に付属されているDVDの資料に目を通すと良いとアドバイスをいただきました。DVDの中には、そのファイルに収められている資料の他にキャリア教育研究紀要やキャリア教育通信が入っています。ぜひご一読下さい。

第1回中学校教科担当者会

今年度も西部教育事務所の指導主事に来ていただいて、各教科で第1回の担当者会を行いました。学校や教科によって、教科担当者が1名しかいないところもあります。また、特に若年教員にとっては授業力を高める良い機会となっています。

今年度最初の教科担当者会を行った「社会科」では、市教研の社会科教育研究会と関連付けて、次回は市教研で行う研究授業の教材研究や指導案検討を行う計画を立てました。「国語科」は、実際に教室で使用できるものを作成



し、それを活用して研究協議を行う計画で、「数学科」では、日頃疑問に思っていることについてざっくばらんな意見が交わされていました。

	テーマと内容
国語	<p>テーマ 『書くことを意識した授業の研究』</p> <p>第2回・・・定期テストの記述問題や正答基準の作成 1年「幻の魚は生きていた」 2年「君は『最後の晩餐』を知っているか」 3年「作られた『物語』を超えて」</p> <p>第3回・・・第2回で作成した記述問題の解答分析 今年度の成果とまとめ</p>
社会	<p>テーマ 『主体的・対話的で深い学びの授業づくりの研究』</p> <p>第2回・・・研究授業に向けての教材研究及び指導案検討 第3回・・・県版学テの分析結果と研究テーマに沿った実践記録を持ちよっての情報交換 今年度の成果とまとめ</p>
数学	<p>テーマ 『数学的活動を取り入れた授業研究』</p> <p>第2回・・・授業後の板書写真を持ちよっての事例研究 第3回・・・県版学テの分析を持ちよっての結果考察 今年度の成果とまとめ</p>
理科	<p>テーマ 『探求心を揺さぶる授業づくりの研究 ～生徒が興味を持ち意欲的に学習する授業づくり～』</p> <p>第2回・・・テーマに沿った実践資料を持ち寄っての実践交流 第3回・・・県版学テの分析を持ちよっての結果考察 今年度の成果とまとめ</p>

*外国語については「英語教育推進事業」において小中での会が行われるため、そちらと兼ねています。



「英語指導教員配置による英語教育推進事業」外国語担当者会 & 英語の授業参観

来年度から、小学校3・4年生で外国語活動が、小学校5・6年生で教科としての外国語が全面実施となります。これに伴い、小学校において英語教育推進のための指導体制を整備する

ことや小学校教員の英語指導力を向上させることが求められ、昨年度から宿毛市でも市内の小学校を巡回指導する「英語指導教員」が配置され、宿毛小学校が中核校として英語教育推進に取り組んでいます。

5月末に行われた第1回目の外国語担当者会では、西部教育事務所の間留美指導主事より、

＊中学校での英語の授業へのスムーズな移行と小学校の英語の授業をゲームで楽しいだけでなく、英語の力を付けるものにするために、小学校5・6年生で英語が教科化されること。

＊来年の4月には、小学校で2年間しっかり70時間英語をやってきた子たちが入学してくること。

＊ALTの先生に任せきりでなく、まず授業をやってみること！ などのお話があり、その後、英語指導教員の東さおり先生より、昨年度の成果と課題や「これからの小学校英語における授業づくり」（目的・場面・状況を設定した必然性のある単元ゴールの設定、1時間毎の授業に目的を持たせ、単元ゴールを達成するために何をしていけばいいかと考えるバックワードデザインの授業、1時間に1回は言語活動を組み込んだ授業）を含めた今年度の取組等についてお話がありました。

また、今年度も英語教育推進プランの元、小学校の英語教育の推進体制の整備や小小連携・小中連携による小・中学校の英語教育の充実、小・中学校の英語教育の指導方法及び学習評価の工夫改善に各学校で取り組んでいただきたいと思います。その中の一つの取組として、中学校の先生方に校区内の小学校6年生の授業を参観していただくことをお願いしています。中学校区に分かれての協議の際に、中学校の英語の公開授業の日程をお知らせし、小学校の先生方にも中学校の授業を参観してもらうようご案内している先生もおおり、より密な小中連携が図られようとしているグループもありました。

早速、6月7日に行われました小筑紫小学校6年生「将来行ってみたい国を紹介しよう」を参観させていただきましたが、担任の浅井柚衣先生が出来るだけたくさん英語を使おうとされていて、英語がたくさん飛び交う授業でした。ほとんどの児童が自分の行ってみたい国を紹介する中、まだターゲットセンテンスを言うことが出来なかった児童も、授業の中で何度も使うことによって、最後にはすらすらと口から出るようになり、1時間の中で変容が伺える授業となっていました。



校長先生も積極的に参加されています！

児童が作成した行ってみたい国・そこでできること・食べられる物などを書いたカードを見せながら、どんどん紹介しています。



＊浅井先生、小筑紫小の6年生、ありがとうございました。